

ゆん・なんニュースレター

第45号 令和3年 8月 10日

焼け付くような日差しとセミの鳴き声が賑やかになり、今年も夏がやってきたと実感しています。そんな中7月23日に開会式が行われ、ついに東京オリンピックが開催されましたね。コロナの影響で延期され開催についても様々な意見がありました。選手の方々のキラキラとした笑顔やメダル獲得に向けて試合に挑む姿を観ていると、胸が熱くなりオリンピックが開催されてよかったですと思います。

ゆんたくホームの前の道も部活に向かう子ども達がたくさん通ります。鋭い日差しで暑さが厳しい中、一生懸命な姿はとてもキラキラしています。去年は部活の試合が制限されて悔しい思いをした子どもがたくさんいたと聞きましたが、今年は大大会など開催されるのでしょうか。制限される状況は仕方ないこともありますが、どうか一つでも多くの思い出が子ども達に残りますように。



今月のトピック・・・広島原爆資料館がリニューアルオープン 展示品を入れ替えて

広島への原爆投下に特化した資料館が、1945年のあの暗黒の日についての展示品の多くを刷新してリニューアルしました。広島平和記念資料館は、爆心地の近くで（遺体は見つからなかったが）亡くなったと思われる子ども達の持ち物などの展示をアレンジするために、3日間休館していました。

この資料館には、被爆者の遺族から寄贈された物など、原爆投下に関連する10万点前後が収蔵されています。資料館が前回、展示品の大規模な入れ替えをしたのは2019年でした。

ある新しいコーナーでは、犠牲者の一人ひとりについて詳しく知ることができます。例えば、笑顔の少女の写真が、学校の制服とお弁当箱と一緒に展示されています。この13歳の少女は、爆心地から800メートルほどのところにいて、背中に受けたやけどで亡くなりました。寄贈した兄からのメッセージには、こう書いてあります。

「顔だけはきれいだったことがせめてもの救いでした。(中略)この遺品は戦争の結末だと思います」



ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

暑い、暑いと言いながらも大きく体調を崩すことなくコロナ禍のオリンピック夏休みを迎えました。受験生のAちゃんは夏休みがスタートした後もほぼ毎日、登校しています。この夏休みは受験生にとって、差が付く時期で学校もそういう体制で指導されているのでしょうか。そんなことでゆんたくの雰囲気勉強モードになっています。今までも京都府の学習支援の先生(元)が来てくださっていましたが、この夏休みに高2の子も加わって週に1回、程度ですが勉強会を開いています。実際に足を運ぶのが難しいということで、「延期」かな?と思ったのですが、ズームで授業をしてくださいました。コロナで辛いことが多いですが、リモートとかビデオ会議とか、インターネット周辺の利用が進みました。更に便利になるのでしょうかね。(ついでいくのがたいへん^^;)



なんくるはなんくるないさ〜

(なんとかなるよ〜)



なんくるのメンバーは相変わらず慌ただしい日々を過ごしています。バイトの掛け持ちや学校への通学など炎天下の中を歩いて向かうことも多いので熱中症等にならないかと心配していましたが、今のところ誰も体調を崩すことなく元気に過ごすことができています。今まで通りバイトに勉強にと頑張っていますが、少しずつお友達と遊びに行く機会も増えて楽しく過ごせているようです。大人になれば大人の楽しさがありますが、10代の夏は今しか体験できません。昨今、制限されることも多い状況ですが、貴重な日々をしっかりと堪能して将来へ向けての準備を進めてほしいです。



らいげつ 2021年 来月のキッチンゆんたくのご案内

2021年

9月16日 (第3木曜日) 開催

よてい 予定メニュー：さらにおいしくなった

ゆんたくカレー&サラダ ♪



8月のキッチンゆんたく

メニュー

・ゆんたくカレー&ゼリー☆

今年度から少しづつ会食を再開したい
とおもっていたのですが。 😞 ザンネン！
引き続きテイクアウトです！

夕方5：30～なくなり次第終了

☆子ども…50円/大人…100円

マイバッグ、持ってきてくださいね～！

Thanks

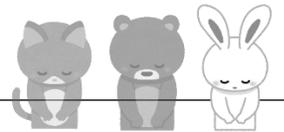
近隣の会社K様より金一封をいただきました。

餃子の虜や様よりたくさん餃子、

フードバンク京都様よりお米・お菓子・お肉以外のカレーの食材をいただきました。

皆様いつもありがとうございます。

Thanks ♪



紙芝居・絵本紹介

『かたあしだちょうのエルフ』

文・絵 おのき がく

<あらすじ>

アフリカの草原で、仲間たちと暮らしていた『だちょうのエルフ』。 強くて勇敢で子どもの好きな優しいエルフは、他の動物たちから慕われて、頼りにされていました。ところがここは、アフリカ。ある日、ライオンが襲ってきました。子ども達を助けるためにエルフは必死で戦いました。しかし片足が・・なんと大切な足の1本をなくしてしまいました。

はじめのうちは、仲間の動物たちはエルフを気遣って食べ物を持ってきてくれました。しかし…しばらくすると誰も食べ物を持ってきてくれなくなりました。そしてエルフはどんどん弱っていきました。

そんな時、今度は黒豹が動物たちを狙ってあらわれました。体の弱ったエルフでしたが、それでも子ども達を助けようと…最後の力を振り絞り、黒豹と戦いました。

そして最後にエルフは大きな木になりました。木になったエルフは、草原に一年中、涼しげな木陰を作り動物たちは木の真下に出来た泉の周りで、楽しく暮らしました。

*木版画で描かれた迫力ある挿絵で、本当のやさしさと強さを教えてくれる純粋に感動するお話です。